

# 建設工事関係者連絡会議を開催

## ～労働災害防止と適切な工事発注について意見交換～

6月8日、主に公共工事の発注行政機関担当者に出席いただき、建設工事関係者連絡会議を開催しました。本会議は、工事発注に当たり、工事の計画・設計段階で安全衛生に配慮した発注の促進及び労働災害防止対策を目的とした会議です。

会議冒頭、労働局から栃木県内の労働災害が増加していること、建設業では昨年来、死亡災害及び死傷災害の増加傾向が止まらないことを踏まえ、労働局として諸対策を講ずるので協力をお願いする旨の説明の後、国土交通省宇都宮国道事務所 早野所長より「宇都宮国道における最近の災害事例及び労働災害防止に向けた活動状況」の説明のほか、各発注機関の活動事例紹介等が行なわれました。

また、出席者全員で公共機関発注の建築工事現場に赴き、足場の設置状況や鉄骨組の作業状況等を巡視(研修)しました。



工事現場における現地  
研修の様子

<写真>

JVの尾島所長から現場の安全衛生管理者状況等説明を受けているところ。(研修の場を提供いただいた中村・渡辺・岩村JVの皆様には、丁寧な説明・対応等ありがとうございました。)

最後に、建設業労働災害防止協会栃木県支部事務局から工事発注機関に対して、建設工事の安全衛生管理のために必要な工期等の設定、労働災害防止に積極的な事業者への配慮等の要望があり、当局からも「建設業法令遵守ガイドライン」に基づく適切な発注についてお願いしました。